訳詞】薩摩 曲】COULON JEAN PIERRE PHILIPRE

つも変わ らず

た 悲 語 らう言葉を浮かべ h め <

橋 0 T におり 薄紫 れ 家 夕 ~ 闇せまり来

は 恋恋 \bigcirc 隠

ののそ水そ よの) 橋 の 下 わたる

あ シ 子 もる頃は てゆ

未が

橋たか に 薄 紫 0

に包ま 恋 0面 橋の下よ

古き都の橋 ふたりの語らう いつも変わらず ヌの流れ は

包んでゆくよ 悲し 言葉を浮かべて

2.

橋 闇せまり来れ の下に薄紫の

そこは恋 の声と の隠れ家

面をわたる 風に包まれる

橋の下よ

シャンデ

あ ともる頃は の 子 の手を取

步

7

ゆこう

静かにながれ ヌの岸辺を る

ふたり 夢に見ながら

4.

橋 下に薄紫

闇せま り来

) は 恋 隠れ家

水面をわたる

声と

風 に包まれる

橋の下よ